



2026 年 8 月 26 日

各 位

会 社 名 株 式 会 社 免 疫 生 物 研 究 所  
(コード番号：4570)  
本店所在地 群馬県藤岡市中字東田 1091 番地 1  
代 表 者 代表取締役社長 清 藤 勉  
問 合 せ 先 常務取締役業務執行責任者 中 川 正 人  
兼事業グループ管理本部長  
電 話 番 号 0274-22-2889 (代表)  
U R L <https://www.ibl-japan.co.jp>

## (開示事項の経過)

### 抗 HIV 抗体の GLP 準拠反復投与毒性試験に関するお知らせ

この度、当社が共同保有する特許に関して、株式会社 CURED（以下「CURED」）が開発する抗 HIV 抗体の GLP 準拠反復投与毒性試験（以下「本試験」）の動物試験パートを終了いたしましたので、お知らせいたします。

#### 1. 本試験の概要

- 試 験 名 : サルを用いた 4 週間間歇静脈内投与毒性試験及び  
4 週間回復試験
- 目 的 : 4 週間間歇静脈内投与（1 回/週×4 回）の毒性検討、  
休薬 4 週での回復性評価、TK（毒性動態）及び  
ADA（抗薬物抗体）測定による全身曝露・免疫原性評価
- 実 施 基 準 : ICH（医薬品規制調和国際会議）S6(R1)等の  
関連ガイドライン、GLP（Good Laboratory Practice）
- 試験デザイン : 動物種；カニクイザル  
(NAFOVANNY 産、雌雄各 16 頭使用)  
投与経路；静脈内  
投与回数；1 回/週×4 回  
投与期間；4 週間  
主群は最終投与 1 週後に剖検  
休薬期間；4 週間（可逆性評価用）  
評価項目；  
○一般毒性所見  
・一般状態観察、FOB 機能観察総合評価  
検査、体重、摂餌量  
・眼科学検査、心電図、血圧測定、動脈  
血酸素飽和度  
○臨床検査  
・尿検査、血液学検査、凝固系検査、血  
液化学検査

○病理学検査

- ・剖検（主群・休薬群とも）、器官重量測定、病理組織学検査

○トキシコキネティクス・免疫原性・

炎症マーカー

- ・TK、ADA、炎症性サイトカイン（IL-2, IL-4, IL-5, IL-6, TNF- $\alpha$ , IFN- $\gamma$ ）

2. 現況

本試験の動物試験パート（投与及び観察）は計画どおり終了し、試験期間中、動物の一般状態観察において重篤な異常は報告されておりません。なお、TK データ、ADA データ、および炎症性サイトカインデータの解析および病理組織学的検査を含む最終試験報告書は試験実施機関にて取りまとめ中です。最終的な NOAEL（無毒性量）等の評価は、当該報告書の受領・精査をもって確定するものです。

3. 今後の見通し

CURED で最終試験報告書を受領後、速やかに内容を精査したのち、必要に応じて改めてお知らせいたします。あわせて同社は、本結果を踏まえ、PMDA（独立行政法人医薬品医療機器総合機構）との相談等、治験開始に向けた準備を計画どおり進めております。

4. 業績への影響

本件による 2026 年 3 月期の当社連結業績に与える影響は見込んでおりませんが、今後公表すべき事項が生じた場合には、速やかにお知らせ致します。

以上

※関連リリース（2026 年 6 月 15 日）

抗 HIV 抗体開発の状況及びスケジュールに関するお知らせ

<https://www.ibl->

[japan.co.jp/direct/topics/topics\\_pdf\\_download/topics\\_id=5893&disp=inline](https://www.ibl-japan.co.jp/direct/topics/topics_pdf_download/topics_id=5893&disp=inline)